



ペルー（解説p.2）

地理・地図資料

帝国書院

2010年度 2学期特別号



ペルー

2009年9月、太平洋岸からアンデスの高地まで、
さまざまな姿がみられるペルー取材した。
ここでは高地に暮らす人々の生活をレポートする。



写真はすべて2009年9月撮影／帝国書院



アンデス山脈の高原地帯に広がるチチカカ湖は、湖面の標高が3810mあまりで、船が通う湖としては世界で最も高い所にある。ペルーとボリビアの国境にまたがる湖の広さは、およそ8300km²、琵琶湖の約12倍に相当する大きさで、そのうち60%がペルーに、40%がボリビアに属する。この広大な湖面には、トトラとよばれる葦に似た植物でつくった浮島がいくつも存在する。

トトラは、チチカカ湖畔に自生するカヤツリグサ科の植物で、草丈3～4mの水草である。浮島は、切って乾燥させたトトラを束ねて、湖面から30～40cmの高さまで積み重ねてつくる。島は湖上にあるものの、湖の浅瀬に密生するトトラの上部を刈り取って支柱とし、その上にトトラを厚く敷きつめてつくるため、漂流する心配もない。また、周囲のトトラが防波堤としての役割を果たすため、多少の波で島が浸水することもない。島の大きさは小さきまぎまで、ほとんどは2～3家族程度が居住する小さな島だが、十数家族が住むような大きな島もある。中心となる島には、学校や教会、診療所も置かれており、人々は島や陸との間をトトラでつくった舟で移動する。

島や舟のほかにも、トトラは家屋や漁具、かまどの燃料など、島の生活のあらゆる面にわたって利用されている。たとえば、家屋は釘や針金をいっさい使わず、

支柱に木材を使用するほかは、トトラと縄のみでつくられる。しかし、トトラはやがては腐敗し、傷んだ所が浸水することもあるので、島の上にはいつも刈り取ったトトラが干してあり、必要に応じて、あるいは定期的に浮島の修繕や屋根の葺き替えを行う。

浮島で湖上生活を送るのは、ウル人（ウロ人）という少数民族の血をひく人々である。しかし、現在では近接して住むアイマラ人との混血化が進んで、純粋なウル人はおらず、ウル語を話す人もほとんどいない。島民の大半はアイマラ語を話し、生活もアイマラ文化の影響を受けている。彼らの生業は狩猟や漁労が中心で、トトラの舟を使い、湖に生息する魚や水鳥、その卵などを獲って生活を送っており、それらを湖岸の町でひらかれる市などで売り、主食となるジャガイモやトウモロコシなどの作物や生活必需品も手に入れている。

近年では、自らの生活文化を観光資源として売り出し、外国人観光客用に宿泊施設を設けたり、手作りの民芸品を売ったりして生計を立てる島民もいる。また、フジモリ大統領時代(1990年代)には、島にソーラー・パネルが設置され、電気の供給が可能になったため、テレビやラジオを持つ家もある。最近では、インターネットが使用できる場所もあり、島の生活も徐々に変化している。

取材レポート

帝国書院取材班

成田からダラス、マイアミを経由し、リマに到着するのに24時間半かかった。

コスタ（海岸）に位置する首都リマは海岸砂漠特有の気候で、毎日どんよりと曇り、湿度が高い。クスコは強烈な日差しで乾燥しており、リマとは別世界だが、海拔0mから一気に3249mのクスコに降り立った体は高度に慣れておらず、撮影隊員も高山病にかかった。写真④はマチュピチュに向かう観光列車内の酸素ボンベ。ここでは土産物店、観光用バンなど、いたる所に酸素ボンベが備えられている。

アンデスのおもな農作物はトウモロコシとジャガイモで、③はトウモロコシの播種作業の昼休みに食事をする一

家。中央の瓶にはトウモロコシでつくった酸っぱい弱発酵飲料、チチャを入れている。②は乾燥ジャガイモのチューニョ（左）とモラヤ（右）で、冬の寒暖の差を利用し、凍ったジャガイモがとけると足で踏み、中の水分を出して保存食としたもの。スープに入れて煮込むことが多い。モラヤはチューニョを1か月程度水にさらして白くし、もう一度乾燥させたもの。とろみがでてチューニョより美味だという。

⑥はクスコ近郊の放牧地。アルパカの毛は織物として使われるほか、肉はコレステロールが少ないヘルシー食材でおいしい。ビクーニャ（中央の首の細いもの）は最も標高の高い所に生息し、毛はアルパカより繊細で最高級織物になる。絶滅が危惧されている。

⑦はクスコ近郊の村で農作業中にクスコの中学校に通う娘と携帯電話で話す夫婦。ここ2～3年で急速に普及し、

1家に1台くらいはあるという。固定電話よりも、アンテナを建てれば済む携帯電話の方が先に普及した。

⑤は標高3812mのチチカカ湖とプノの町。動力船が就航する世界最高所の湖として知られているが、これらの大きな船は修理中だった。観光専用船と地元民の移動用小舟が活躍していた。

